

匝瑳市10歳の誕生日をお祝い 市制施行10周年記念日イベント

匝瑳市制施行からちょうど10年となった1月23日、ふれあいパーク八日市場で市制施行10周年記念日イベントが開催され、会場を訪れた多くの市民の皆さんと「匝瑳市10歳の誕生日」をお祝いしました。

開会セレモニーで太田市長が「今日は新たなスタートを切る日。今後もまちづくりに着実な歩みを進めたい」と挨拶すると、50人が参加したふれあいパーク周辺を巡る「ふれあい散歩」のスタート前に、全員で地元言葉の掛け声によるラジオ体操「おっらーほーのラジオ体操」で準備運動を行いました。また、のさか太鼓による迫力満点の演奏や子どもたちの笑顔あふれるソーサマンショーなどが行われ、大きな盛り上がりを見せました。



「おっらーほーのラジオ体操」で準備運動



ふれあいパーク近くの集落内を歩く「ふれあい散歩」参加者



力強いのさか太鼓の演奏

最後の活動に元気にプレー

匝瑳小ゴルフクラブ発表会

匝瑳小学校ゴルフクラブの年間の学習成果を披露する「平成27年度ゴルフ発表会」が2月15日、松山ゴルフクラブで開かれ、3年生以上の児童24人と、保護者や地区住民などの12人が参加しました。

平成25年に発足した同クラブは、今年4月に同小が八日市場小に統合することから今回が最後の活動日になりました。小雨が降るあいにくの空模様でしたが、児童たちは大人を含め6人1組で計4ホールをプレーし、3年間の活動に別れを告げました。プレーを終えた児童は、「無くなってしまうのは寂しいけれど、機会があればまたゴルフをやりたい」と元気に話していました。



1年間の練習の成果をコースで披露する児童

「ぼっくり」で遊ぶ参加者



昔ながらの遊びや餅つき、焼き芋などを通して地域の交流を深める「親子で一緒に遊ぼう会」（平和地区社会福祉協議会主催）が2月6日、平和小学校で開かれました。

平成14年から毎年開催し、今回で14回目。同小学校の児童や保護者、同協議会の役員など約300人が集まり、竹馬やけん玉、竹製の「ぼっくり」といった遊びのほか、縄跳びや段ボール遊びに楽しみました。中でも、餅米約30kg分を用意して行われた餅つきでは、一突きごとに周りから「よいしょ」と声が掛けられ、一番の盛り上がりを見せました。

懐かしい遊びで地域の交流
親子で一緒に遊ぼう会

地域の伝統行事

各地区で行われた伝統行事を紹介します。

松峰神社の御奉射

(2月6日)



次の当番地区へ渡される
鶴のしんこ餅

豊和地区飯塚の松峰神社で御奉射が行われ、五穀豊穡を祈願しました。厳粛な儀式が終わると、縁起が良いとされる「鶴」と「亀」をかたどった大きなしんこ餅が、新旧当番地区の間で交換されました。

飯倉新田の獅子舞

(2月8日)

豊栄地区飯倉で獅子舞が行われました。この日は昔から「事八日」と呼ばれ、疫病神などが来訪する日と伝えられています。地区の若者衆が子安神社で一年の無事を祈願した後、獅子の装束をまとった地区内の家々を訪問し、魔除け・厄除けを行いました。



獅子が家々を訪れ厄除けを行う

時曾根の大蛇まつり

(2月8日)



3匹の大蛇を入口へ運ぶ

豊栄地区時曾根で大蛇まつりが行われました。わらで長さ3m、太さ30cmにもなる大蛇3匹を編み上げると、口に厄除け札を入れ、お神酒を飲ませ入魂。集落の入り口3か所の木にそれぞれ吊るし、疫病退散を祈願しました。

中台の大数珠くり

(2月8日)



念仏を唱え数珠を回す

長さ10m近くにもなる大数珠を、地区のお年寄りが輪になり念仏を唱えながら順送りする匝瑳地区中台の行事「大数珠くり」が、同地区の竜院で行われました。この日集まった4人は念仏を繰り返して唱えながら大数珠を4周回し、数珠の大きな房の部分が自分の所に回ってくる、房に向かい頭をたれました。

プロの落語を“生鑑賞”

豊栄小 芸術鑑賞会

芸術文化学習の一環として豊栄小学校が毎年行っている芸術鑑賞会が1月26日、同校体育館で開かれました。

今年は、落語家の三遊亭楽生さんと三遊亭鯛好さんを招いて小学生向けの落語を鑑賞。扇子や手ぬぐいを使った落語の動作をクイズ形式で当てる場面や、児童が羽織りを着て落語を体験する場面もあり、会場はプロの落語を“生鑑賞”した子どもたちの大きな笑い声で包まれました。



落語動作の解説をする
三遊亭楽生さん(左)と
三遊亭鯛好さん

ホームステイ先で
食卓を囲む修学旅行生ら



台湾修学旅行生がホームステイ
食卓を囲みコミュニケーション

台湾の修学旅行生が1月26日に本市を訪れ、市内や横芝光町内のホストファミリー（受け入れ家族）宅にホームステイしました。

この日訪れた修学旅行生32人は、グループに分かれて6家庭に一晚滞在。ホストファミリーは、食卓を囲みながら、英語や身ぶり手ぶりを交えて「日本に着いてどこに行ったの」などの質問をしてコミュニケーションを図っていました。

市ではこれまで、平成25年度に2回、26年度に1回の計100人を超える台湾からの修学旅行生をホームステイとして受け入れています。

非常用電源の確保に

生涯学習センターに太陽光発電設備

市では、災害時の指定避難所となっている生涯学習センターに太陽光発電設備を設置し、2月15日から稼働を開始しました。



生涯学習センター屋上に設置した太陽光パネル

発電設備は、センター屋上に太陽光パネル30枚を設置して7.2kW(キロワット)の合計出力を保有。併せて容量15kWh(キロワット時)の蓄電池も備え、停電発生時の非常電力の充実強化を図りました。